



日比野 佐和子先生の

# プラセンタとオメガ-3でほんとうのアンチエイジングに挑む!

5年ほど前に市場規模が約1.6倍へと飛躍的に拡大したプラセンタ市場(※1)。現在、ちまたには「プラセンタ」と銘打たれた商品が溢れています。数ある中で

ほんとうに選ばれるべきプラセンタ商品とはどういったものなのでしょうか。プラセンタ研究の第一人者である日比野佐和子先生に伺いました。

## Q1 品質はアミノ酸含有量とこだわりから見る

プラセンタ&オメガ-3

かきこいプラセンタ商品の選び方を教えてください。



近頃は、プラセンタの配合量や純度といったものにフォーカスした商品が多いようですが、私は、プラセンタの配合量ではなく、100gあたりのアミノ酸含有量といった有効成分の濃さを見選んでいただきたいと思っています。また、できれば製造過程や原料も確認していただきたいですね。例えば、プラセンタには馬の他にも、人や豚、植物などを由来としたものがあります。馬は豚にくらべてプラセンタ中のアミノ酸含有量が多いので優れています。さらに馬の中でもサラブレッドの場合、出産は獣医師が付いて

人間の出産さながらに1頭ずつ丁寧に Rowe されますから、プラセンタ、つまり母親の胎内で胎児と母体をつなぎ、胎児を育てる胎盤は、1頭ずつ新鮮で安全な状態で回収されます。ですから、感染症を含め衛生面でもとても安心なんです。

また母馬自身も、最高のパフォーマンスを求められる競走馬として餌の農業チェックをはじめ厳重な管理下で育てられていますから、サラブレッドのプラセンタは非常にクオリティが高いといえますね。そういった商品のこだわりを注目でプラセンタを選べると良いと思います。

日比野 佐和子先生  
ひびの さわこ

医師/医学博士 内科 皮膚科 眼科医  
アンチエイジングドクター (日本抗加齢医学会専門医) /  
「プラセンタ&オメガ-3」監修者

## Q2 医療現場でも可能性を広げるプラセンタ

プラセンタ&オメガ-3

日比野先生は20年以上プラセンタ研究に携わっていらっしゃいますが、最近のプラセンタの動向をどのようにご覧になっていますか。



プラセンタには、1個の受精卵から成人に成長するまで何十兆個という細胞を増殖させるための栄養素がたっぷり入っています。細胞の分裂を適正にコントロールする「成長因子」ですね。日本では50年以上前からその機能が認められていて、肝機能障害の治療や更年期障害の治療に保険適応で使用されてきました。私は20年前、産婦人科出身の父の治療をヒントに、当時所属していた眼科分野でプラセンタ研究を始め、重症ドライアイなどの目の疾患に対してもプラセンタが有効であることを見出し、プラセンタにはとても期待をしています。

一般に「プラセンタ」というと、美容効果が注目されがちですが、美容効果以外にも、リウマチ、前立腺肥大といった内科の領域から、眼科、歯科、再生医療の領域まで医療現場で幅広く利用されています。まだまだ未知な部分があり解明途上ですが、2001年にはプラセンタの中から癌転移抑制物質(メタスチン)が発見されたこと国際的な科学雑誌「Nature」で取り上げられるなど、今後、もっと難しい病への利用などその可能性はさらに高まると思っています。全身の、ほんとうの意味での若返り効果が期待できるのではないのでしょうか。

### Profile

医師/医学博士 内科/皮膚科/眼科医、アンチエイジングドクター (日本抗加齢医学会専門医)、「プラセンタ&オメガ-3」監修者。

大阪大学医学部大学院医学系研究科卒業・博士課程修了。現、大阪大学医学部大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学講座特任准教授、同志社大学アンチエイジングリサーチセンター講師、森ノ宮医療大学保健医療学部准教授、ルイ・バスターール医学研究センター基礎研究部アンチエイジング医学研究室室長、Rサイエンスクリニック院長を歴任。平成29年9月よりJ'sサイエンスクリニック 広尾 統括院長に就任中現在に至る。

### 所属学会

NPO法人国際医学科学研究会(International Medical Science Society) 副理事長 脳心血管抗加齢研究会 評議員/日本抗加齢医学会 評議員/点検療法研究会 理事 世界アンチエイジング学会 (WOSIAM) Scientific Coordinator 日本代表  
日本内科学会会員/日本皮膚科学会会員/日本眼科学会会員/日本再生医療学会会員/米国内視覚医学学会会員

※1: 2012年5月5日株式会社富士経済が発表した、「健康美容食品の国内市場調査レポート」